

学校とのやりとりに関する依頼文フォーマットの使い方

このフォーマットは、「学校とのやりとりで傷つきエネルギーを消耗する不登校家庭の保護者を1人でも減らしたい」という、ひとりの保護者の声がかっけで作られました。

作成に当たっては、「学校とのやりとりに関する困りごとアンケート」を実施。

令和4年3月1日～10日の10日間で不登校・行きしぶりの子どもの保護者630名以上から様々な声を寄せていただきました。そうして集まった声を「特定非営利活動法人 多様な学びプロジェクト」運営の「とまり木オンラインサロン」メンバー有志が集計・分析し、広くご利用いただけるよう整理しております。

全国の保護者の皆さんのノウハウをギュッと集めた本フォーマットを活用していただくことで、**学校と保護者のやりとりをスムーズにし、子どもが伸び伸びと成長できる環境を整えること**を目指しています。

本フォーマットは、可能であれば不登校当事者であるお子さんの意思を確認しながら作り上げてください。その際も「あなた自身がどうしたいかを教えて欲しい、私はそれを最優先にして、周りの大人と話し合うよ」ということを伝えてください。

子どもは、大人が想像する以上に周りの大人の感情を読み取り、それに即した言動をしなければと感じています。もし、お子さんが学校に関する話題を出すことも辛そうな状態の場合は、無理をせず保護者のみで作成してください。文書作成という行為自体がお子さんの負担にならないよう、十分ご注意ください。

出来上がった文書は、保護者と学校の面談の際にご活用ください。**本フォーマットが、「子どもの幸せ」を共通目標とした前向きな対話の一助になれば幸いです。**

なお、このフォーマットは無理に作成・使用をする必要はありません。本フォーマット及び別途発行しているアンケート報告事例集は、悩んでいる保護者の方に「同じ悩みを抱えている人はたくさんいて、あなたはひとりではないし、色々なやり方がありますよ。」と伝えることを第一目標としております。

今この文章を読んでくださっている方の心が、少しでも軽くなることを願っております。

※本事業を参考に各自治体教育委員会や学校等で独自のフォーマットを作成される方へ※
本フォーマットは無料で公開しておりますが、知的財産権は手放しておりません。
本事業を参考に、独自でフォーマットを作成された際も、多様な学びプロジェクト作成の「学校依頼文フォーマット」を元に作成した旨を必ずご記入ください。



特定非営利活動法人 多様な学びプロジェクト

*もしよろしければ、右記 QR コードからこの依頼文に関するご意見をお寄せください。今後の活動の参考にさせていただきます。



〇〇学校
関係各位

(保護者のお名前)

(お子さんのお名前) に関するやりとりなどについてお願い

日頃より、子ども達の健やかな成長にご尽力くださり、厚く御礼申し上げます。

さて、(お子さんのお名前) は現在、毎日学校に通うことが難しい状態です。

保護者として、我が子が毎日心安らかに、笑顔で楽しく過ごすことを大切にしたいと考えております。

そのため、貴校との連絡方法など、当面の間は次のような方法を取れたらと考えております。

下記の内容は、あくまでも家庭としての希望です。貴校において対応が難しいこともあるかと思しますので、「**子どもが伸び伸びと成長できる環境**」を共通目標として、一緒に話し合っていたらと考えております。

なお本書は、子どもの気持ちや状況の変化に応じて、修正していく可能性がありますことを、ご理解くださいますようお願いいたします。

この文書フォーマットは、特定非営利活動法人 多様な学びプロジェクトが作成しております。作成に当たっては「学校とのやりとりに関するアンケート」を実施。不登校・行き渋りの子どもの保護者 630 名以上から様々な声をお寄せいただき、それらを参考にしながら作り上げました。本書が「子どもの幸せ」を共通目標とした前向きな対話の一助になることを願っています。

なお、当該アンケートの報告事例集(速報版)も併せてお目通しいただければ幸いです。

また、参考として 2017 年 2 月に施行した「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律(教育機会確保法^{※1})」の関連条文を抜粋掲載させていただきます。

※1 義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律(抜粋)

(学校以外の場における学習活動等を行う不登校児童生徒に対する支援)

第十三条 国及び地方公共団体は、不登校児童生徒が学校以外の場において行う多様で適切な学習活動の重要性に鑑み、個々の不登校児童生徒の休養の必要性を踏まえ、当該不登校児童生徒の状況に応じた学習活動が行われることとなるよう、当該不登校児童生徒及びその保護者(学校教育法第十六条に規定する保護者をいう。)に対する必要な情報の提供、助言その他の支援を行うために必要な措置を講ずるものとする。



特定非営利活動法人 多様な学びプロジェクト

記

1. 出欠連絡の方法について *関連 アンケート報告事例集(速報版) 9 ページ

(連絡方法: メール ・ 電話 ・ その他)

登校する日だけ連絡

欠席する場合連絡

毎日連絡

その他 ()

2. 登校刺激（登校を促す学校からの行動）や家庭訪問について

*関連 アンケート報告事例集(速報版) 13ページ

子どもの状況を鑑み、控えていただきたいです

本人が希望するものだけ行ってください

(希望内容:

学校として必要と考えるものは、事前に保護者へご相談ください

3. 学校として最低限必要な「子どもの現認確認（安否確認）」は、

次の方に行っていただきたいです（○印） *関連 アンケート報告事例集(速報版) 13ページ

担任教員 / 担任教員以外の教員 / スクールカウンセラー

主治医 / 地域の民生児童委員 / その他

(その方の所属とお名前:

4. 登校の際に配慮していただきたいこと

子どもが安心できる、あるいは落ち着かない環境は、次のとおりです。

登校した際には、これらを踏まえてご対応いただけると幸いです。

*安心できる環境には「○」、落ち着かない環境には「-」を記入しています。

同年齢との交流 / 異年齢との交流 / 一人で内省する時間

体を動かすこと / 深く考えること / なにかを作ること

競い合う環境 / 協力し合う環境 / 独立的な環境 / 協調する環境

威圧的な環境 / 穏やかな環境 / 賑やかな環境 / 静かな環境

その他 (

また、次のような状態に強いストレスを感じます。

可能な範囲での合理的配慮について、ご検討していただけるとありがたいです。

●特にストレスを感じる環境

5. 授業プリントやお手紙などの受け渡しについて

*関連 アンケート報告事例集(速報版) 9ページ

(1) 受け取る頻度

(毎日・週1回・月1回・学期毎・その他)

(2) 受け取りたいもの

(授業プリント・クラスだよりなど・テストや宿題・その他)

(3) 受取方法

(学校に伺う・届けていただく(投函・対面)・その他)

6. 出席認定や通知表について

*関連 アンケート報告事例集(速報版) 17ページ

(通っている場合) フリースクールの利用日を出席認定していただきたい

(利用している場合) ICT教材による自宅学習を出席認定していただきたい

フリースクールや自宅での学習を通知表に反映させていただきたい

上記のいずれも不要です

その他 (

7. 給食（給食費）について *関連 アンケート報告事例集(速報版) 10 ページ

- 毎月定額を支払う
- 日割り計算で支払う※²
- 支払いを止める
- その他（)

※²（お住まいの市町村名）で定める学校給食条例及び規則に沿って、
ご相談させていただけたらと考えております。

8. 教材（教材費）について *関連 アンケート報告事例集(速報版) 10 ページ

- 全て購入する
- 必要な教材のみ購入する
- 購入せず、必要に応じて調達する
- その他（)

9. PTA 活動について *関連 アンケート報告事例集(速報版) 10 ページ

- PTA に加入し、活動にも参加する
- PTA に加入はするが、役員などの活動には参加しない
- PTA に加入しない / 退会したい
- その他（)

10. 教育機会確保法第 13 条に則り、提供していただきたい情報。

または、こちらからご提供可能な情報。*関連 アンケート報告事例集(速報版)16 ページ

- 地域またはオンラインのフリースクール情報 欲しい / 家庭から提供可能
- 地域またはオンラインの不登校の親の会情報 欲しい / 家庭から提供可能
- その他 学校外の学びの場情報 欲しい / 家庭から提供可能
- 他の不登校・行きしぶりの子の保護者と繋がりたい
- その他（)

11. その他ご相談したいこと

保護者としての願い

子どもの成長について、次のように願っております。

* この他、特にお願いしたい事項や、お目通しいただきたい資料があれば、
別途お渡しいたします。

以上